

第8回 釧路病院薬剤師会会員発表会

謹啓 寒冷の候、先生方におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。
さて、この度、下記内容にて会員発表会を開催することになりました。先生方にはご多忙の折とは存じますが、万障お繰り合わせの上ご出席賜りますようご案内申し上げます。 謹白

日時:平成23年2月18日(金)18時30分～
会場:釧路全日空ホテル 3階 万葉の間
釧路市錦町3-7 TEL:0154-31-4111

<製品紹介> 「持続性Ca拮抗薬 ノルバスク錠」 ファイザー株式会社 学術部

<開会挨拶> 釧路病院薬剤師会会長 品川博行

<会員発表1部> (発表時間45分 各演題発表12分・質疑応答3分)

座長 釧路労災病院 薬剤副部長 小川芳範 先生

演題-1「白内障クリニカルパスにおける薬剤師の関わり」

～昨年12月から白内障のクリニカルパスが変更・入院期間が短縮されたことに伴い、見直された薬剤師の関わり方について～
市立釧路総合病院 若松みほ 先生

演題-2「ワルファリンカリウム錠の後発品から先発品への変更によるINRの変化の可能性」

～ワルファリンカリウム錠を後発品から先発品へ変更したことがINRに影響を及ぼしたと考えられる症例があったので報告します。～
釧路孝仁会記念病院 佐治千明 先生

演題-3「DIニュースを利用した看護師に対するインスリン製剤名称の理解度に関する調査研究」

～インスリン製剤名称が変更されたためDIニュースで周知してきた。看護師に対しアンケート調査を2回実施し、インスリン製剤名称の理解度、DIニュースの効果の検証を行ったので報告します。～
釧路赤十字病院 千田泰健 先生

<会員発表2部> (発表時間45分 各演題発表12分・質疑応答3分)

座長 市立釧路総合病院 薬局長 森本淳 先生

演題-4「閉鎖式薬物混合システム(PhaSeal system)導入までの経緯と現状」

～当院では、釧路市内では4番目となるが、2009年12月より閉鎖式薬物混合システム導入の検討に入り、2010年2月にPhaSeal systemの導入を決定し、3月からの導入を目指して取組みを開始した。今回、PhaSeal system導入までの経緯と、当院の現在の使用状況について報告します。～
釧路赤十字病院 渡邊清人 先生

演題-5「抗生剤適正使用のための薬剤師の役割」

～感染症の予防と治療における抗生剤の適正使用は、耐性菌の発現による院内感染防止対策として重要な問題です。近年、抗MRSA薬やカルバペネム系薬の適正使用を目的とした取り組みが数多く報告されています。当院における抗生剤の使用量、使用期間、届け出制の状況を検討し、薬剤部での取り組みと問題点について報告致します。～
釧路赤十字病院 高柳昌宏 先生

<閉会挨拶> 釧路病院薬剤師会副会長 森本淳

尚、会員発表会終了後に情報交換会をご用意しております。

共催 釧路病院薬剤師会 北海道薬剤師会釧路支部 ファイザー株式会社

日本薬剤師研修センター認定受講シール(1単位)の配布を予定しております。
本書案内に関わる個人情報、この講演会以外では使用致しません。